

教 育 文 化

教育文化(テーマ :新しい市が誕生したときに、「自慢したい」、「残したい」、「伸ばしたい」、「くふうしたい」ものは？(政策、住民の取り組み、場所、祭り等々))

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-14	川内市	29	女	川内川花火大会と川内大綱引き等は自慢できるものなので、是非残して欲しいと思う。女性政策は、合併する他の市町村にひけをとらないと思っている。(県内トップクラス!)他の市町村のレベルアップを図りたい。
1-23	川内市	43	男	残したいもの...自然(特に海岸線)、川内大綱引。伸ばしたい工夫したい...観光(今ある財産を連携させて新たなルートを開設)
1-24	川内市	26	男	川内大綱引、はんや祭り
1-27	川内市	36	男	郷土の伝統芸能は残してほしい。
1-40	川内市	44	男	各校区公民館の組織・活動を残したい(各地区毎の行事)
1-45	川内市	47	男	「自慢したい」「伸ばしたいもの」として、川内市の教育環境を上げたいと思います。特に、情報教育の環境面では、県下の上位にあると自負しています。また、今回合併予定の祁答院町は、情報教育の先進地として県下だけでなく、全国的にも有名で、情報教育のノウハウも蓄積されています。そのため、新市ではこれらの優位性を生かし、情報教育先進市として伸びていくべきだと思います。そのためにも、教育力向上のために、生徒指導等の雑務から開放された純粋な指導機関として、『教育研究センター(教師の教育力向上のためのトレーニングセンター)』を設けるべきだと思います。
1-47	川内市	43	男	川内大綱引
1-49	川内市	47	男	川内川を活かしたイベント、事業等。川内大綱引保存会は残していきたい。
1-57	川内市	44	男	大宝2年に薩摩国が建てられ、川内に国府が置かれ、薩摩中心として栄えた。また、可愛山稜や泰平寺など多くの歴史文化遺産が残っている。このような歴史文化遺産を伝承していく取り組みを充実していく。
1-58	川内市	29	男	川内大綱引 川内川花火大会
1-65	川内市	46	男	薩摩国分寺・国府これが1番
1-77	川内市	46	男	合併する各市町村の文化と伝統は守りつつ、新しい伝統文化をつくっていく。また、そんな自由な意見が市民の中から生まれる風土づくりに取り組んでいただきたい。
1-79	川内市			川内という名は残してもらいたい。
1-80	川内市	33	女	川内大綱引き(残してほしい) はんや祭りはいらない。 したとしても、周辺市町村の同じような祭りと合体した方がいいですね。
1-81	川内市	29	男	川内川花火大会、大綱引き...残したい 福祉施設増築...伸ばしたい 年中活気ある市であること。(川内市を中心として東郷の鮎や観光農園、樋脇の温泉や串木野の漁業、つけあげ、金山、甌島の海を活用したキャンプ施設等)...自慢したいこと
1-83	川内市	28	男	今までと一緒。たくさんのいいものを残して、歴史を。
1-84	川内市	28	男	大綱引
1-86	川内市	27	男	綱引きなど
1-87	川内市	27	男	市外からも見に来ている大花火と綱引き
1-88	川内市	25	女	花火大会

1-90	川内市	26	男	綱引き、川内市の文化遺産
1-92	川内市	29	男	昔から川内市に残されている伝統行事(お田植祭、花火大会、はんや祭り、大綱引)を今後とも残した方がいいと思う。新田神社、国分寺跡、寺山、川内川周辺の整備など
1-94	川内市	30	女	花火大会、大綱引き。もっと福祉や教育に重点を置いたまちづくり。
1-99	川内市	42	男	大綱引き、花火大会は是非残してほしい。
1-100	川内市	34	女	はんや祭、綱引きは残してほしい。川内川の流れを工夫した公園をつくってほしい。商店街が早く閉店して国道沿いが寂しい気がするので、どうにか工夫ができないものだろうか。
1-102	川内市	36	男	川内川・泰平寺・新田神社・薩摩国分寺・川内川花火大会・薩摩国分寺ふれあい文化事業・唐浜・西方海水浴場・人形岩・川内川流域に残る郷土芸能・冠岳まつり・甌島の自然
1-103	川内市	35	男	自慢したい:自然。伸ばしたい:人口。残したい:自然及び地域住民が主体となった祭り事。生活環境の充実
1-105	川内市	48	男	川内大綱引き・花火大会は自慢したい。各地の史跡や郷土芸能は残したい。くるくるバスや単一料金バスを関係市町村まで拡大する。また、山村留学の範囲を広げ、過疎の町村に拡大する。市町村職員の移動も段階的に支所等に増やし、住民との相互理解と住民との親睦を深めていくことが大切であると考えます。
2-4	串木野市	29	男	伝統的な行事だけは残した方がいい。
2-5	串木野市	47	男	郷土の誇りである浜競馬、ガウンガウン祭り、太郎太郎祭りを自慢したい。また本市の特産物である「つけあげ」の種類を工夫して全国にアピールしてもらいたい。
2-7	串木野市	38	男	各地域の祭事(太郎太郎祭など) さのさ祭りと川内大綱引きを合併して都市の大きな祭りになりたい。
2-100	串木野市	31	男	浜競馬、冠岳山市、ちかえて祭りは、串木野の特色がよく出ており残してほしい。また照島から羽島にかけての海岸線は特に美しい。クリーン作戦などは是非続けてほしい。
2-106	串木野市	50	男	現在川内市の大綱引きをメインイベントとしてやり各市町村でも前夜祭的に開催する。冠岳の史跡、歴史を残す。薬草園をつくり、薬草料理をたべさせる所をつくり観光会社を結び昼食をとらすようにする。又、薬草園は地元の人を雇う。園の中に小さくてよいので資料館をつくる。
2-121	串木野市	51	男	歴史的遺産、風光明媚な箇所は積極的に残し、それらを使って外部に宣伝する。
2-128	串木野市市民生活課	26	女	各地区地域の特色ある祭り等は絶対に残すべき。豊かな自然や温泉に恵まれた地域なので、それを生かした観光都市として、発展してほしい。
2-132	串木野市	32	男	浜競馬 マグロに関するもの
2-134	串木野市	28	男	それぞれの市町村でしていた祭りは、1つの市としての祭りとしてできるだけすべて残した方がいい。
2-136	串木野市	44	女	冠嶽の山々 古くからの祭事
2-137	串木野市	37	女	冠岳山市
2-138	串木野市	29	女	冠岳の山市
2-18	串木野市	42	男	照島浜競馬
2-20	串木野市	58	男	各地域で行われているイベントなどは、できる限り継続させ、文化的遺産、風光明媚なところは残していく。
2-26	串木野市	52	男	本市の歴史、風土等出切るだけ多くの物を残して行く視点に立って検討して欲しい。どのものも地域によっては大小にかかわらず大事なものであると思うから。

2-32	串木野市	44	男	町おこしと行っている行事は、今まで伝統及び工夫したものであるので、引き続き守ってもらいたい。
2-33	串木野市	31	男	浜競馬
2-44	串木野市	53	男	合併前の全ての市町村で行われていた祭り、行事等のうち、地域を限定されるものについては、全てを合併後の5年間は残して、市町村の融合を図るようにしてほしい。
2-46	串木野市	44	女	串木野さのさの歌が大好きです。さのさ祭りなど残してください。温泉センターなどの大きな設備をつくっていただきたいです。
2-47	串木野市	43	女	他の市町村に負けないような串木野さのさ祭りを自慢したい。さのさが全国に通じるようにPRしたい。東シナ海に広がる照島海岸、長崎鼻の夕日は最高。若い人たちが働きやすく活気あふれ、未来につながる政策が必要と思います。
2-56	串木野市	39	男	自然の景観(海・海岸線・山・森林・川)を後世に残したい。さのさ祭り、浜競馬等は残すべきものである。現在、各市町村で行われているサービスを新市となった後も従来と変わりなく、さらにはよりよいものとなるようすべきである。
2-57	串木野市	42	女	各地に古くから伝わる文化(郷土芸能、祭り、文化財)を守り、伝承してほしい。地名は今のもでも残せるのではないか。国民宿舎は残して欲しい。新市誕生後に同じ市の市民同志わかり合えるよう、また市内のことを早く知るように、何らかの広報なりイベントなりをやって欲しい。
2-60	串木野市	47	男	照島海岸 長崎鼻公園 浜競馬
2-67	串木野市	30	男	さのさ祭り、冠嶽祭、れいめい祭。荒川地区での自主的な住民の活動意識 浜競馬
2-69	串木野市	57	男	年間を通し充実した祭りと行事 花冠祭、浜競馬、マグロフェスティバル、荒川蛍ツアー、さのさ祭、合同産業祭(地かえて)、冠岳山市 等
2-72	串木野市	28	男	各市町村それぞれで昔から行われている祭り、郷土芸能(行政主導のイベントではなく)
2-85	串木野市	54	男	各地区には、目的・趣旨が同様な祭り・イベント(夏祭り、花火大会、マラソン大会、体育大会、産業祭等)があるが、これらについては見直しをするか工夫する。しかし、各地区には、伝統がありその地区の顔になっている祭・イベント(例えば串木野浜競馬等)があるが、これらの祭・イベントについては、新しい市の顔として更に充実を図る。また、各地区の郷土芸能については保存に努める。川内・串木野の港を生かしての、中国・東南アジア諸国との貿易を進める。串木野は海とともに栄えてきたまちであり、その特性(他の市町にないもの)である。「遠洋まぐる基地」を生かしてまちづくりに努める。
2-86	串木野市	54	女	あちこちに残る祭りごとや郷土芸能等はずっとその町の誇りとして後世に語り継ぐために残してほしいものです。
2-87	串木野市	48	女	今までどおりに行事を残してほしいです。
2-88	串木野市	44	男	美しい海岸線で行われる浜競馬大会
2-94	串木野市	38	女	さのさ祭り
2-96	串木野市	41	女	「まぐるフェスティバル」を残したい 「さのさ祭り」を工夫したい
3-1	樋脇町	27	女	現在子供達に対して行っている事業は残しておきたい。子供達が大人になるまで様々な経験をし、豊かな心が育つような事業は続けてほしい。また、思春期についても取り組んでいき、思春期から父性、母性を育てるような事業を実施していきたい。
3-14	樋脇町	42	男	温泉とホッケーに関する行事は残してもらいたい
3-16	樋脇町	23	女	小さな地域特有の産物や行事などが消えてしまわないように小さなところの良いところを新市で持ち上げていきたい。祭りなどは市の住民が中心におこなうものでありたい。行政だけが動いても何も変わらない。
3-18	樋脇町	47	男	倉野やっこおどり
3-23	樋脇町	19	女	それぞれの市町村が行っている祭りや行事は多少の変化を加えつつ、伝統ある行事として合併後も続けていきたいです。

3-33	樋脇町	30	女	各地区ごとで保存されている郷土芸能 ホッケー競技など
3-34	樋脇町	23	女	温泉とホッケーのまちという歴史を絶やすことなく残したい。今の市比野温泉は少しさびれているというイメージがある。街路樹等を植えて「もう一度行きたい」と思わせるような景観作りも必要。各市町村で行われている郷土芸能は残しておくべきである。
3-35	樋脇町	49	男	従来各市町村で保存されている郷土芸能を残したい
3-38	樋脇町	31	男	町技:ホッケー
3-5	樋脇町	23	女	各地域に残る郷土芸能は残して欲しいです。これから高齢化社会になっていくが、若者とのふれあいの1つとして残してほしい。また、年に1度全体の郷土芸能を披露する場も考えてみるのも良いと思います。
3-57	樋脇町	45	男	ホッケーは引き続き残していきたい。
3-58	樋脇町	22	女	市比野温泉と県内でも数少ないスポーツ・ホッケーをぜひとも残したい。もっと多くの人に知ってもらい利用してもらいたい。
3-60	樋脇町	30	男	丸山自然公園、スポーツイベント、スポーツ合宿等の誘致、川内花火大会、いむた池、入来の文化財(入来文書等)
3-62	樋脇町	31	男	現在「温泉とホッケーの町」となっているが、他の市町村にはないものだと思うので、是を引き続き残していってほしい。
3-68	樋脇町	49	男	学生(小中高校生)のホッケー競技の存続と新市での普及活動
3-69	樋脇町	45	男	新しい市になっても「ホッケー」は伸ばしてほしい。自慢できるスポーツとして残したい。
3-7	樋脇町	41	男	各市町村とも伝統的な催し物等は当然あるので合併前から十分な話し合いをしてほしい。
3-70	樋脇町	25	男	郷土の歴史や文化財、文化は絶対に残したい
3-75	樋脇町	58	男	丸山を活かしたイベント等及び郷土芸能、以前の様に実施を要望。市比野温泉の名前は残して欲しい。
3-77	樋脇町	26	女	ホッケーは残したい
3-80	樋脇町	26	男	ホッケーは新しい市が誕生してもその市全体でバックアップしてもらいたい。市技として残してもらいたい。
3-83	樋脇町	55	女	彫刻大会等「残したい」と思う。樋脇の暮れの市も「残したい」
3-84	樋脇町	20	女	倉野の奴踊り、塔之原1区の花尾楽、武士踊り、藤本の椿踊り、野下の鎌踊り、上手の太鼓踊り塔、郷土芸能が廃れていかないように残していけたら。「温泉とホッケーのまち」をアピールする。自慢したい。
4-1	入来町	55	男	全国で50番目となる入来町の重要伝建地区(来秋:国の選定)と清色城跡(同時期に国指定)は川薩地方一帯を長期間治めた入来院氏の歴史を象徴するものとして、施設整備方に今後力を入れていけば、圏域にとって魅力あるポイントになります。
4-11	入来町	46	男	伝統的建造物群の整備及び広報により、地域のより一層の活性化を図る。
4-2	入来町		女	残す:入来町の郷土芸能(太鼓踊り等)文化財 伸ばす:山之口のふれあい館もお風呂でなく温泉に(副田温泉場のお客さんが少なくなるから…と聞きますが…)山之口は、ふれあい農園があり、川あり、温泉になると(温泉があるかを聞かれます…)お客さんが増えるのではないのでしょうか?今後のテーマとして…。きんかん狩りが(他でやってないから試みに…1ヶ所だけでも)…あったら?冬は寒いです。ハウスの中は暖かくて…家族連れが喜ぶのでは?きんかんを使って作ったお菓子、きんかんワインが出来る。説明書も加えて…。
4-3	入来町	31	男	郷土芸能など、歴史的なイベント等は各地区で継続していく必要があるが、新市の全域を季節ごとのエリアに分けて、季節にあったイベントを各地で行えば、各地区を有効に活用できるのでは。

4-4	入来町	54	男	昔からそこにあったものも現代までに保存してあるもの等を残したい。
4-5	入来町	34	女	地元独自の祭り事は残してほしい。これらをすることで、活気づくと思うので。
4-8	入来町	50	女	残したいこと、自慢したいことはそれぞれの地区で培われてきた郷土芸能や自然であり、それらを十分に次代に継承していける様、学習の場を設ける。
5-3	東郷町	44	男	地域イベント(夏祭り納涼大会、とうごう天神梅マラソン大会) 小さいながら町民に喜ばれ、また行政を町民が一体となって取り組む唯一のイベントであるので、新市のまちづくりの中でも地域の活性化を考える中で必要。なお、継続には予算面や支援体制など工夫も必要。
5-4	東郷町	47	男	祭り、イベントについては各町村の特性を生かしながら、まとめられるものと、その地域の「村おこし」に活用できるものに分けて継承してほしい。
5-7	東郷町	48	男	東郷町で今まで行われた四季折々のイベント、身近でふるさとを実感できるまつりを残してほしい。場所等は広域で集中することがないように各地域で実施してほしい。各地の特産品
6-1	祁答院町	44	男	旧市町村ごとにそれぞれ文化・伝統があるのでそれを残す方策を講じてほしい。
6-11	祁答院町	24	女	地域の伝統芸能や行事
6-12	祁答院町	46	男	各郷土の伝統的な祭り 年1～2回の河川道路の愛護作業(ボランティア)
6-14	祁答院町	53	男	川内大綱引き、串木野浜競馬等市町村の大きな伝統行事としてあるもの、集落毎等に引き継がれているものについては継続していけるような施策を、花火大会、マラソン大会、産業祭(ふるさと祭)等現在各市町村毎にある同種のイベントについては、特性を生かし2～3ぐらいに集約を。
6-17	祁答院町	32	男	各種のイベントは統合していった方がよいと思いますが、各市町村に残っている伝統芸能は、補助金を使ってでも残していくべきだと思います。
6-2	祁答院町	55	男	温泉活用 :健康づくりと観光開発を含めたスタンプめぐりにより、新市の再発見を。伝統行事(イベント)を残していく。
6-5	祁答院町	39	男	一般公道でのロードレースの規制が厳しくなる現状で、蘭牟田池でのロードレースは継続して実施したい。 新市誕生後、旧10市町村の住民交流・親睦を深めるイベントの開催
6-9	祁答院町	33	女	地域の文化財、伝統などを残していきたい
7-12	里村	45	女	古くからの行事等を残してほしい
7-13	里村	38	女	伝統行事等なくさず継続出来るようにしてほしい。
7-16	里村	50	女	伝統ある行事等なくしてもらいたくない。続けてもらいたい
7-8	里村	28	男	・合併前からの地域の伝統行事を残してほしい。 ・マラソン大会等(現在 7 地区)を行っているものを 大会、上甌地区、 市大会川内地区とし、1つのイベントにし、年間通して楽しみ、全地区大会出場者に景品を与える等健康作りをくふうして欲しい。
8-1	上甌村	59	男	旧市町村毎の一番と思える祭りイベント等は地域文化継承のためにも残して実施していただきたい。
8-17	上甌村	35	男	残したいもの「夏祭り」「甌大明神マラソン大会」
8-3	上甌村	62	男	「こしき大明神マラソン大会」「こしき太鼓」「太鼓ばやし」等の育成と継承 「鹿の子百合」の原産地として残す 真珠養殖港を活用した施策。園芸(パッションフルーツ)生産グループの育成

9-6	下甌村	27	男	各地に伝わる伝統芸能の保存伝承
9-7	下甌村	38	男	・各地区の無形文化財を伸ばしていく(ドンドン等)・記念イベントとして、甌を含めた駅伝大会を実施したら
10-5	鹿島村	41	女	観光客・帰省者共に楽しく参加出来る夏の"みなと祭り"はぜひ残したい。
11-1	川内地区消防組合	39	男	各市町村でスポーツ面で自慢できるスポーツもあると思う。 樋脇町:ホッケー串木野市:相撲川内市:バスケットボールなど全国に通用するスポーツはもっと伸ばして欲しい
11-2	川内地区消防組合	39	男	川内川,川内大綱引き,川内川花火大会
11-3	川内地区消防組合	36	男	その土地風土を最大限に尊重した独自性ある新市に。祭りなどは市民全員が参加・取り組めるような祭りの計画
11-4	川内地区消防組合	24	男	川内大綱引き,川内川花火大会
11-5	川内地区消防組合	26	男	川内大綱引き,川内川花火大会
11-7	川内地区消防組合	45	男	大綱引き。クリーン作戦については多少マンネリ化の兆しが見られるので各地域のあり方について工夫し見直されなければならない
11-8	川内地区消防組合	39	男	伝統ある“川内川大綱引き”は新市誕生であってもそのままの呼び名そのままの形,また花火大会も同様に残すべきと思う
11-9	川内地区消防組合	41	男	川内川,川内川花火大会
11-10	川内地区消防組合	35	男	大綱引きを残すこと
11-11	川内地区消防組合	49	男	新しい市を活性化させるイベント・祭りとして川内川の河川敷で日本一の大鍋を作り芋煮会を行い,全国的に注目されるイベント,祭りにする。また,東北の仙台にもあるらしいので北と南で交流を図り,文化社会的に活性させる。
11-12	川内地区消防組合	26	男	川内大綱引き,川内川花火大会
11-18	川内地区消防組合	52	男	昔からあることに,歌い踊って親睦を深めてきた郷土芸能を廃れることなく残して行けたらと思います。
11-19	川内地区消防組合			恵まれた資源を最大限に生かし,環境に配慮したまちづくりをして欲しい。公共工事等も自然破壊ではなく自然再生(例えば堤防の二重化など魚の住める川作りなど)を目指してほしい。 また,これまでの各市町村の伝統・文化を尊重し中央集権的なまちではなく,自治区単位の独自性を残してほしい。(区長制を導入し,それぞれの区民祭や体育行事等の継続的实施など)
11-20	川内地区消防組合	26	男	各地に残る無形文化財の存続と発展。川内大綱引き,竜宮伝説フェスティバル,甌大明神マラソン,東郷梅マラソンなど 陸・海の交通手段の改革。甌島フェリー,シーホーク等時間等の改善と増便
11-21	川内地区消防組合	43	男	川内大綱引き,花火大会
11-24	川内地区消防組合	19	男	川内川,寺山,花火,綱引き

	防組合			
11-25	川内地区消防組合	37	男	関係市町村で取り組み「はんや祭り」等のイベントと拡大していく
11-26	川内地区消防組合	27	男	川内大綱引き, 川内川花火大会
11-27	川内地区消防組合	23	男	花火大会, 川内大綱引き
11-28	川内地区消防組合	28	男	現在ある各市町村の伝統的祭りはそのまま残し, 新市誕生に伴いそれを記念する新たな祭りを開催(開催地域は持ち回りしていく)
11-38	川内地区消防組合	24	男	私たちが幼い頃から目で見, 肌で感じてきた伝統的な大綱引き, 花火大会などはこれからも残していきよりよいものにしてほしいと思います。
11-43	川内地区消防組合	52	男	今まで受け継がれてきた伝統的祭り等行政も積極的に関係し, この伝統をいつまでも残してほしい。
11-44	川内地区消防組合	25	男	「大綱引き」や「はんや祭り」「花火大会」等の伝統的な物は残してほしい。
11-46	川内地区消防組合	39	男	花火大会, 川内大綱引き等の伝統的催し物を残す
11-47	川内地区消防組合	38	男	花火大会, 川内大綱引き, はんや祭りそして, 他の町でも行われている伝統的催し物を残す
11-48	川内地区消防組合	25	男	花火大会, 川内大綱引き, はんや祭りそして, 他の町でも行われている伝統的催し物を残す
11-49	川内地区消防組合	40歳代	男	現在行われている祭りなどに, 行政側も積極的に呼びかけを行って残してもらいたい。
11-51	川内地区消防組合	26	男	残したいのは, 各地域での伝統的なイベント, 祭りは今まで通り続けてほしい
11-57	川内地区消防組合	42	男	大綱引き, 花火大会
11-58	川内地区消防組合			川内にはこれといった観光地はなかったが, 合併後は市比野温泉, 川内温泉, 入来温泉藺牟田温泉, それに医務大家を加え, 今までここに宣伝していたのを一体化してPRしたら。特に川内温泉はひなび感でPR次第では化けるかも
11-59	川内地区消防組合	50	男	はんや祭り, 大綱引き, 川内川花火大会のイベントは残したい。
11-60	川内地区消防組合	55	男	各市町村に伝わる, 芸能また市町村が主催してきた祭りなどは残し, 新しい市に後にまで残るイベントを作ってもらいたい。
11-64	川内地区消防組合	40	男	各地域に伝承されている伝統芸能や祭りを残していくとともに, 新市の新しい文化作りを考えてほしい。
11-67	川内地区消防組合	26	男	大綱引きは残してほしい

11-68	川内地区消防組合	48	男	川内大綱引きについて(上方、下方のチーム編成の再考が必要では。綱の移動が少なく面白くない。 川内川周辺整備(憩える場所としてもっと活用すべき) 川内市総合運動公園(周辺整備、上池周囲の散歩道、公園作り)
11-69	川内地区消防組合	28	男	川内川大綱引を残してほしい。
11-70	川内地区消防組合	23	男	川内川大綱引を現在のままの形で残して欲しいと思います。
11-71	川内地区消防組合	44	男	川内市の大綱引や串木野市の港祭まつり等各市町村には数多くの行事があり、行政の補助を受けながら地域住民の保存会事業として残してきている行事があると思います。何十年、何百年も地域の人々の努力によって引き継がれた行事を絶やさないよう新市になっても補助等を行って続けていけるようにして欲しいものです。
11-74	川内地区消防組合	38	男	川内大綱引きは今後も残っていくと思いますが、もっと見ている人が楽しめるように、綱が動くようにしたらどうですか。又川内カップが 県外からの参加者が多くなるように、市がもっと協力すべきではないですか。せっかく綱の町、川内をアピールしているのですから。
11-75	川内地区消防組合	44	男	伝統的なものを継承し、新市が誕生することでなくならないよう住民自ら盛り上げ、公共機関等のバックアップで後世に受け継いでいけるような下地をつくるのが肝要では。
11-78	川内地区消防組合	41	男	各地域で今まで行っていた行事
11-79	川内地区消防組合	23	男	各地域で行われていた行事等を残していく。
11-81	川内地区消防組合	40	男	体育館施設と周辺整備について県内でも大規模な素晴らしい体育館であります。しかしながら、使用者は、市内市外のインドアスポーツの選手がほとんどで、川内市民で未だに見たこともないとの声を聞きます。この周辺は、緑豊かで心が和む雰囲気を作り出しています。近年高齢者等のウォーキングをよく見かけるようになりました。足腰に負担のかからない仕様のウォーキング・ジョギング道路。更には親子で思い切り遊ぶことのできる芝生を一面に張りつめた広場や市民イベントを開催できるイベント広場を建設し老若男女が集えるものができれば、未来の川内市は、まだまだ伸びると感じます。
11-84	川内地区消防組合	19	男	川内川花火、大綱引き
11-85	川内地区消防組合	30	男	花火大会継続、大綱廃止、はんや祭り廃止
11-87	川内地区消防組合	22	男	花火、お金を回す
11-88	川内地区消防組合	23	男	川内大綱引き、花火大会、マグロフェスティバル、納涼祭等の祭り
11-89	川内地区消防組合	29	男	川内川の名前が残るのに川内市の名前がなくなるのは寂しい 大綱引き、花火大会
11-90	川内地区消防組合	33	男	大綱引き、はんや祭り等イベントをもっと盛大にやりたい。
11-91	川内地区消防組合	25	男	伝統的な行事などを残すようにしてもらいたい
11-92	川内地区消防組合	21	男	川内川花火大会、川内大綱引き

11-93	川内地区消防組合	40	男	川内大綱引き, 花火大会
12-5	西薩衛生処理組合	52	男	現在、各市町で行われているお祭り等について(例えば川内市はんや祭、串木野さのさ祭等)祭り自体を盛大にしたら(2日~3日間)どうか。
13-1	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	38	男	新港開発、ちかえて祭りのアピール。昔の町並み(レトロ)にして発展していくように。
13-3	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	45	男	各地域心有る伝統芸能(有形・無形文化財等の祭り)黎明の地、マグロの町等アピールできる祭、場所。
13-5	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	40	男	さのさ祭・浜競馬・大綱引き
13-7	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	40	女	自然に関しては、なるべくこれ以上壊さない、変えない。大切に残すべき一番に掲げたいものです。伝統芸能も残していきたいものです。
17-1	甌島衛生管理組合	47	男	旧市町村の自然、歴史、文化等を大切に特色あるまちづくりを進めてほしい。
18-5	上甌島バス企業団	28	男	甌島の祭り(かずらたて、武者おどり、すもう)の合併した地域の人々もまぜてやりたらいいと思います。
2	個別応募:串木野市		男	川内大綱引き(国道3号線以外の場所を選定。見物者が多く集まれる所。現在は主催者が川内商店、企業が中心に運営されている様であるが市民住民全員参加型の祭りに又行政も全面支援で盛り上げることが必要。)串木野まぐろ祭り(現在は盛り上りに欠け知る人ぞ知るで集客力に問題がある。まぐろを主体にしたイベント“まぐろ音頭”など力強い海の男の祭りを要望。現状は名前だけで朝市か道の駅的存在で品物を販売することが目的の為迫力なく、普通に終わってしまい民衆に感銘を与えることがない。是非改善すべき)串木野浜競馬(一応全国的に知れ渡りつつあるがこの祭りも盛上りに欠け長年回数だけは重ねているが創意工夫がない残念である。浜辺、観客席の整備、馬主が一生懸命出場に向け取組む様主催者(市、商工会議所、支援団体、住民)の協力支援を強力に推し進めること。又一方競技内容を浜辺を走らせるだけでなく障害競走馬のおどり多種多様のかざり馬の縦列行進等観客を楽しませる工夫が必要。
4	個別応募:川内市	31	女	自慢したいもの・山、川、海といった豊かな自然・おいしい特産品、癒される温泉・伝統行事、歴史 残したいもの・歴史を感じるもの(遺跡・建物・伝統行事・郷土芸能等)・それぞれの市町村が今持ち合わせている個性 伸ばしたいもの・それぞれの市町村が今持ち合わせている個性をさらに充実・各世代がともに楽しめるイベント・各地の可能性、人々の可能性 くふうしたいもの・各世代がともに楽しめるイベント(小さい子供連れも、若年層も、お年寄りも)またはそれぞれが年代別で楽しめるイベント・住民参加型のイベント・普段の生活で気軽に利用できる公共施設、催し物・各世代それぞれに対応した広い意味でのまちづくり

6	個別応募:川内市	35	男	自慢したいもの・川内大綱引き、川内花火大会 残したいもの・川内大綱引き、川内花火大会 伸ばしたいもの・個性、特色のある街づくり くふうしたいもの・何を造るにしても自然や地域にマッチしたものを造っていったらよいと思います。
9	個別応募:川内市	4	女	自慢したいもの:古くから、政治・経済、交通の中心地であったこと。 残したいもの:各地の地名や伝統・文化 伸ばしたいもの:中国・東南アジアに近いという地理的優位性。 工夫したいもの:新市域内の移動距離・移動時間の短縮化。

教育文化(テーマ :「魅力あるまち」「活気のあるまち」「幸せを実感できるまち」にしていくためには、何が大切で、何をしたらよいと思いますか?)

	市町村名	年齢	性別	提言
1-43	川内市	39	男	伝統のあるものを切捨てずに、残していく努力が必要だと思う。若い人が集まれる場所
2-27	串木野市	38	女	人を思いやる心豊かな青少年を育てるまちづくりにしていく。
2-29	串木野市	43	男	文化・伝統の継承
2-47	串木野市	43	女	伝統文化は残し、新しいものは取り入れ、時代に沿った取り組みをする。
2-51	串木野市	39	男	次代を担う子供達の育成や高齢者が安心して住める町をめざし「教育・福祉」に重点をおいた施策に取り組む。例として、共働き世帯におけるカギっ子対策としての放課後児童保育の充実、不登校生徒の相談等の充実を図る。福祉対策としてディサービスの充実はもちろんのこと、高齢社の憩える場の提供を図る。
2-56	串木野市	39	男	子育て支援...女性の働く場所の確保等(子育てしながら)、公民館等地域活動で連携を図る 働く場所の確保(企業誘致、あらゆる業種での新規の起業者の育成) 住環境の充実
2-57	串木野市	42	女	高齢者には扶助費等が多く使われているように感じるが、もっと幼児や子供達にも手厚い施策が必要だと思う。若い親が働きやすい環境を作って欲しい。(保育園、幼稚園、託児所、子ども病院)市内のすみずみまで行政の手が行き届くように声が届くように、市役所が身近でなければならない。その為には、支所や出張所等を均等に置いて欲しい。各種の届や申請(住民が頻繁に利用するもの)を出す役所が住居地から近い所になればいい。商店街をもっと魅力のある通りにして、車を使わなくても出かけられ、帰りの心配もあまり必要ないようバス等の運行も定期的に便を増やして欲しい。
3-3	樋脇町	49	女	町の宝である子供達を豊かに育てること。人の幸せは何であるかを乳幼児期は保健活動を通じて児童や思春期には学校教育や文化を通して感性を育てねばならないと思う。学校教育(総合教育)の充実
3-82	樋脇町	32	女	今まで各市町村で大事にしてきた祭り等大事にしてほしい。また、経済的なことにしても合併して不況になりすぎたり、ならないようにある一定のラインはキチンと決めて欲しい。
4-11	入来町	46	男	新市の中核的な役割を果たす教育施設の充実。例えば、市立の中央図書館、児童生徒の研修施設、教職員保護者の研修施設などの整備 学校におけるITの充実。学校間のテレビ会議システムの構築、中核となる教育施設との接続等、IT活用による教育効果の充実
5-3	東郷町	44	男	住民が行政と共に創り上げ、また成し遂げる感動を与えることが大切。特に13万都市をもなれば一人一人の住民が新市の一員と実感してもらうことが大事ではないか。歴史は大切にしたい。郷土芸能など地域が大人、子供一体となって取り組む絶好の場であって、異年齢間の交流をはじめとしてひきつがれていくものである。旧市町村を中心とする支所機能にはこのような特徴があってよいのではないか。
5-6	東郷町	28	男	各地域での伝統行事をできるだけ保存していく。伝統行事を残していくことによって住民の横のつながりが残っていく。

11-2	川内地区消防組合	39	男	川内川を利用して夏場に各種イベント等が実施され寺山には寺山公園があるが港方面の有効な活用方法があるのではないかと考える。例えば唐浜海水浴場と合わせた大型の公園遊園地などがあれば多くの人が集まるのではないか
11-8	川内地区消防組合	39	男	8月16日の川内川花火大会のように県内外各地から若者が大勢集まるイベントを数多く実施したらどうか
11-17	川内地区消防組合	38	男	公共施設等を利用したイベントの増加(歌手, タレント等呼び, 歌謡曲ショー, 後援会等を開催し, 内面的にも充実できる日が増えるといいと思う) 郷土愛の向上を計るため, 郷土芸能等の復活など(今, 伝えなければ完全に忘れ去られてしまうものがあるのではないだろうか。)
11-19	川内地区消防組合			自然との共存 スポーツ振興 福祉のまちづくり 人口流出の歯止め対策(雇用創出, 観光行政促進) 離島振興策の拡大
11-20	川内地区消防組合	26	男	新しいものばかりでなく伝統と共存できる町並み 街全体上がりラックスしやすい
11-29	川内地区消防組合	48	男	合併後のまちづくりにはそれぞれの地域の特性を活かすことは当然のことであるが, 現状では, あらゆる面において行政が住民を引っ張っていきいわゆる「行政からやらされている」という意識が住民には強いようである。そこで各地域にはスポーツ施設, 温泉・自然・伝統行事等それぞれ自慢できるものがあるので, これらを利用して行政と連携を取りながら住民の手で企画・運営していく方法をもっと多く取り入れ住民自らがまちづくりに参加しているという意識を持たせることが「魅力あるまち」「活気あるまち」作りに必要ではないか
11-32	川内地区消防組合	22	男	活気あるまちにするために, 若者が集まったり遊んだりできる場所をつくって欲しい。夜間でも各種スポーツ大会や練習ができるようナイター付きの芝生のグラウンドをつくって欲しい。ナイター付きのグラウンドができることにより各種プロスポーツや企業スポーツのキャンプ地にもすることができると思う。
11-33	川内地区消防組合	22	男	川内には観光雑誌に掲載されるほどの公共施設がありません。そこで今ある寺山にもっと大規模な自然動物公園(例えば, 高千穂牧場)を作り, 夜景のきれいな寺山をさらに眺望できる大観覧車を作ってはどうか。(東京お台場にあるイルミネーション時計付き)
11-34	川内地区消防組合	41	男	川内市というよりも, 鹿児島県に総合レジャーランド又は, テマパークと呼ぶにふさわしい施設が見あたりません。川内は海, 山, 川, と大自然の宝庫でもあり, これを活用して子どもからお年寄りまで楽しく遊べるような施設の建設を望みます 川内には県内に誇れる特産品, 料理がありません。何か1つ川内に行ったらあれを食べよう, あれを食べに川内に行こうと呼ばれるような品物を公募して川内の特産品として売り出してみてもどうでしょうか?
11-35	川内地区消防組合	33	男	現在川内市には寺山公園や清水ヶ丘公園, 中郷池などがありますが, どれも中途半端で誰もが気軽に行ける場所ではなく, また終日過ごせる環境でもないのではなかなか足を運ぶ気持ちにはなれません。「もっと住民が気軽に水や緑・自然と触れ合う事ができ, 遠方からも来訪したくなるような, 広域的な緑地公園や森林公園・海浜公園や河川公園等の憩え集える環境が増えれば, 人々の笑顔と活気に溢れる水のまちになるのでは」と考えます。
11-37	川内地区消防組合	50	男	現在, 川内市にある公園について, 総合運動公園も整備が進み運動施設は整いつつありますが, 子どもたちが終日遊んで過ごせるような「遊園地」的な施設がありません。市外から, 更には, 県外からも子どもたちが遊びに来られるような中途半端な施設ではなく大規模な施設を造ることにより川内市に自然と人が集まります。子どもを集めれば必ず大人もついてくると思います。人がいない所からの活気は望めません。
11-40	川内地区消防組合	31	男	水のまちをアピールするために河川敷を使った施設や催し, また, 海岸線を使った施設や催しをもっと多く取り入れたらどうか。また, レジャー施設などがあまりないので現在あるものの規模を拡張するかまたは新しいものを造ればどうか。
11-45	川内地区消防組合	38	男	娯楽施設の不足。例えば 5000 人収容できるホール, 映画館, テナント等と一緒にした施設を建設し, 交通手段も高速道路・新幹線も開通することから集客能力も格段よくなっているのが人集まりやすいと思う。また, 熊本県の荒尾市にある遊園地や千葉県浦安市にあるディズニーランドみたいな施設の誘致など。
11-53	川内地区消防組合	47	男	毎年恒例のスポーツイベント(マラソン, サッカー野球大会等)の開催。人気歌手グループ・タレントのコンサート開催。プロスポーツのキャンプ及び公営ギャンブルの誘致。れいめい, 川内高校の野球を強くして甲子園に出場できるようにする。

11-57	川内地区消防組合	42	男	自然と人が集まってくるようなレジャー施設等の整備
11-66	川内地区消防組合	41	男	現在、住民が何を望んでいるのかを行政に直接反映させるようにし、近隣市町村からも遊びにくるような施設の整備を今以上に推進し、魅力のあるまちにしていきたい。たとえば、運動公園に子供から大人までを対象に遊べるような温泉及びプール等の建設はどうでしょうか。
11-69	川内地区消防組合	28	男	新しい市となり何もかも新しくするのはなく昔からある良い伝統などは、残しつつ郷土を愛することが大切だと思います。
11-71	川内地区消防組合	44	男	今後急速に進む少子高齢化に向けて、福祉施設や福祉関係事業の充実を行い暮らしやすい街づくりや子供を育てるのに現在はたくさんのお金が必要であります。もう1人は欲しいが教育資金や共稼ぎのためにあきらめている家庭もあるのではないかと考えます。そのような家庭に、学費や給食費の補助や保育園や幼稚園の経費の補助などを行い、1人でも多くの子供が増えたら良いと考えます。そして、周辺の住民の方が住んでみたい。この市で子供を育てたいと思える環境整備を行い、他の市ではない特徴のある市をつくってもらえる様望みます。
11-94	川内地区消防組合	38	男	若い意見を聞き入れる環境作りプロジェクトを作成して他の模範となる場所への積極的な研修視察を
13-4	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	32	男	祭や地域・公民館対抗のスポーツ(ソフトボール・バレーボール・駅伝・運動会)に力を入れる為に、賞品や参加賞を豪華にしたり、新しい市長(?)
2	個別応募:串木野市		男	人間の心を引きつける魅力とは何かと考える時自分の要望を満たしてくれる人、物(金品、食べ物、住まい、外見を良く見せる衣類等)、満足を与える環境であろうと考える。先ず人であるが、この世の中は高齢化社会に突入。特に地方は若者が少なく年寄りだけと言っても過言でないと思う。そこで老人から若者、子供迄が参加して楽しむ施設環境を充実させること。例えば、月1回集客力のある体育館が市民センターを改善し必ず若い人、老人すべてが進んで出かけ一日を楽しく過ごせる催しをする。このさい、昼食等すべて準備し送り迎えも責任をもって若い人中心でやってやる。この接触によって深いコミュニケーションが生まれ育って人を大事にする心が生まれ連帯感の重要性を皆が認識する社会が育つと考える。

教育文化(テーマ :新市のまちづくりの望ましい姿、イメージ、キャッチフレーズはどんなものでしょうか?)

	市町村名	年齢	性別	提言
1-2	川内市	41	男	海に開かれた(川内港、串木野港、甕島の港など)、温泉や自然景観(川内川、冠岳、なまこ池などの甕島の景観)を有する観光を活かした、歴史(薩摩国分寺跡、入来の町並み、etc)と文化(網引き、祭りなど)を大切に福祉都市(高齢者にやさしいまち)
2-107	串木野市	50	男	地域の風習等を尊重し、画一化しないこと。イメージ(潮と水と空気のまち)
2-110	串木野市	55	男	串木野の自然、歴史、文化を守りながら暮らしやすい、生きやすい、環境づくりを進める。
3-34	樋脇町	23	女	今の世の中は日々自然が少なくなり仕事に追われ心にゆとりをなくしているように思える。今ある自然を残しつつ、心落ち着くような景観作りも必要だと思う。工夫を加え、発展していくことも必要ではあるが、その土地独自の文化、芸能など残すことも考えて欲しい。
11-26	川内地区消防組合	27	男	大綱引きのまち川内
11-27	川内地区消防組合	23	男	大綱引きのまち

11-59	川内地区消防組合	50	男	県外・市外から来られる方への特産品を考えるべき 川内温泉・月屋山の鍾乳洞の開発
11-61	川内地区消防組合	55	男	「水のまち」を継続し、川内川だけでなく、東シナ海に面していることをアピールして欲しい。特に甌島の海は美しく景勝地もある。
11-84	川内地区消防組合	19	男	もっと店を増やしてほしい
2	個別応募・串木野市		男	東支那海にそびえる都市・・・合併により遠くはなれた町の集まりとなり行政も広域化となりまとまりが当面の課題かと心配する。行政の中心頭をどこに置くか現在は不明であるが、広域を常に把握できる「新都市組織体制計画」の整備、「マスタープラン」の策定が重要と考える。基本的には行政、財政拠点は現在の所それぞれの市、町、村に規模は縮小された型で存在することと思うが、行政機関の連携を密にし、物事の議事進行がスムーズに進む様に力点を置くこと。又、住民はなかなか我が町を大事にする心、他を排斥する精神が培われている。これを徐々に融和させ、人口約13万人が新市として実力を発揮させる統一組織に造り上げる為には頻繁な交流会を実施することが重要かと提案したい。具体的にはその地の特徴を生かした施設、長年繰返されている催場、祭事等を充分活用することか。

教育文化(テーマ :その他、期待するまちづくりの政策等自由なご提言(こんなまちになってほしい、こうあってほしい、子どもたちのためにこんなことをしてほしいなど))

	市町村名	年齢	性別	提言
1-8	川内市	54	男	子供に歴史を残すため、それぞれの歴史的建造物を残し、お祭りの開催日を調整し、毎月どこかで祭りがあるようにする。また、観光シーズンに祭りを集中させて人を寄せる。
1-24	川内市	26	男	児童館等子供達が学校以外に気軽に遊べる施設を作る。
1-37	川内市	58	男	旧市町村意識をなくするためには、長い月日がかかると思うので、小中高校生の払拭が大切。新市長杯なる全競技の大会が必要。薩摩国分寺を活用した各地の伝統芸能高居
1-45	川内市	47	男	教育力向上のために、生徒指導等の雑務から開放された純粋な指導機関として、『教育研究センター(教師の教育力向上のためのトレーニングセンター)』を設けてほしい。
1-53	川内市	38	女	図書の読み聞かせ活動等の支援について 現在、上記活動のほとんどがボランティアに頼っている状況である。また市内各小中学校のうち、大規模校には人件費分の補助金があり、図書事務員が配置されているが、小規模校には人的な配置も無く学校側の裁量に任されている。学校に楽しく通えるように環境整備をしようとする時、行政に出来る範囲は「食と住」であるので、食に関しては学校給食センターの担う役割として、住に関する部分はただ施設(ハード)整備をするだけでなく、読み聞かせの専門家や作家を招致した読書活動(ソフト面)の推進、また学校図書館のネットワークシステムが立ち上げるに当たって、各校を連携できるような人的配置を全市的にバックアップする体制を確立して欲しい。子供たちを取り巻く環境はめまぐるしく変化し、多量の情報があふれる中、ただ「本を読みましょ」では惹きつけられない。
1-64	西薩衛生処理組合	52	男	海に囲まれた地区、山に囲まれた地区、川内川を控えた地区など、多様な居住環境があるので、子供達が定期的に交流できる教育を促進する。西薩衛生処理組合では、資源再生型社会に適応し、また、水質及び大気法規制の強化に対応できる新たな施設の整備を速やかに建設すべきと考えている。
1-65	川内市	46	男	高校教育のレベルアップ、有名塾の誘致、「この町に住めば、進学は安心と思わせる町」お年寄り、障害者、乳幼児を大切にする町...「ここに住めばやさしくなる町」第三次救急医療を備える町...「この町は、人の命を大切に作る町」
1-66	川内市	58	男	基本的には、若者が定着できるまちづくり。若い人を雇う企業誘致育成 市民が楽しめる街(娯楽施設・公園・スポーツ施設・大型店舗等) 子供のために 過疎校の統合。地域と一体となった子育て、親子学習 最後に治安のよいまち、思いやりのある人間が育つまちになってほしい。
1-71	川内市	50	男	高齢者と子供たちの交流を進めるために、子供たちが地域の伝統行事等を学べる機会を設ける。

1-81	川内市	29	男	若い人を定着させる為、企業誘致をしながら市民が楽しめるイベント(運動会、魚釣り大会、レガタ等)盛り上げ、地域と一体となり子供達の土曜日は休みの為、学校側から色々な校区行事に参加要請し、つながりをもたせる。
1-96	川内市	42	男	市民に開かれた行政～行政に対する評価システムの構築、家庭教育の充実、福祉の充実～特に子育て支援の充実。市職員のボランティア活動の推進(管理職だけでなく一般職員も)～朝の活動、行事の支援
1-98	川内市	40	男	子供たちが自分の住む地域を自慢できるような取り組みを教育活動を展開したい。例・綱引き競技大会をここから全県そしてもっと広く広げる。・川内川流域カヌー大会・甕島でのサバイバルキャンプ
1-99	川内市	42	男	大人も子供もよりよく豊かな生き方ができるよう生涯学習の充実を図ってほしい。よい本との出会い、よい映画との出会い、素晴らしい人々との出会いの機会をたくさんつくっていただきたいと思っています。
1-100	川内市	34	女	少年自然の家、宇宙館のイベントを工夫して、子供達に自主性、夢と希望を与えてほしい。中学生の授業の一環としてだけでなく、体験学習(職場)を小学生の時からさせて、ボランティア精神、奉仕の心を培ってほしい。どの職場にも小学生でもできる仕事があるのではないかな？
1-103	川内市	35	男	既存小学校の存続。地区によっては公民館の統合は考えられるが、小学校区の統合は行うべきではないのではないかなと思う。子供から老人まで、休日にお金を使わずに過ごせるような、自然都市?「せんだい」を目指して欲しい。
2-5	串木野市	47	男	山や川など豊かな自然を大切に、伝統的な文化や芸能を残し、災害、公害や犯罪が少なく、安心して暮らせ、また企業誘致をし、若者が集まってきて、活気あるまちづくりをしてほしい。子供が遊べる大型レジャー施設を整備し、さらに素晴らしい自然(山、海)を生かした観光ルートを整備し県内外から人を寄せる。
2-11	串木野市	37	男	無駄のない街住民があつた施設はいい、あの橋はいいというような声が上がらないように公共工事や施設建設は慎重にするべきである。お金や時間だけが無駄に費やされているのが多いのでは。子供達には広い緑のある公園で遊ばせたい。小さな公園がいくつもあっても魅力はない。
2-23	串木野市	53	男	防災関係者として、地震・風水害など災害の広域化がすすんでいる現状や川内原子力発電所の事故を想定すると、防災機関の広域化は必要である。最近の子供達の様子を見ますと基本的な生活習慣が欠けているように感じております。明日の担い手である子供達の教育は、家庭、学校、地域社会がそれぞれに取り組んでいるが、更に心豊かな青少年を育成するため奉仕活動の実践、国際交流の推進、教育施設の充実等の教育行政の充実を期待する。
2-46	串木野市	44	女	私達の子供の頃と違い、今の子供達の生活環境が変わっているので、子供達への教育の指導、心の指導に力をいれたい、子供達を助けてほしいです。公民館などに若い人達が加入されないのが、入りやすい公民館作りなどを若い人からお年寄りまでの声を聞いて、新しく作ってほしいと思います。
2-52	串木野市	37	女	学校での学童保育
2-74	串木野市	32	男	箱物は、最小限にとどめ生活に密着する部分(道路維持、公園整備等)を中心に整備を進めるほか、新市の将来を担う青少年に対し、「研修制度(海外研修)や高齢者との交流等」などの進め、人材育成等の充実を図る。合併により、箱物等の建設を推進するよりは、子供達が一日中駆け回ってできる芝生の大きな広場(自然公園等)を建設したら、子供も持つ者としては、あり難いと思います。
2-75	串木野市	38	女	子供達が安全に遊べる児童館(乳幼児)育児についての情報交換の場
2-81	串木野市	29	女	最近、高齢者対策に重点がおかれているので新しい市になったら子供達の対策を充実させてほしい。今までは串木野市に専門の小児科がない等という意見も多く聞かれたが、これからは、医療機関も整備されたり等、今までの人口規模では実現できなかった部分の充実も期待したいし、学童保育、障害児療育、育児サークルなど子供達が健やかに過ごすための施設や事業、行事などが身近に手軽に安心して利用できるようなと思う。
2-82	串木野市	35	男	合併して一番大切なのは、"住みよいまち"になる事だとも思います。今まで各市町村で開催されていた祭りや各地区公民館で実施されていた行事等も統一して行うべきだとも思います。現在は昔と違い、交通や通信その他の面でかなり発展してきているので、昔のままの考えではよくない面もあります。住民みんなが明るく、楽しく、住みよいまちになる事をめざして新市になる事を望みます。

2-92	串木野市	45	男	新市として、新たな行事(イベント)が創設されるであろうが、これまでの市民体育大会、市文化祭、各種イベント等は、地域活性化の意味からも継続していくべきと考える。
2-110	串木野市	55	男	周辺部では更に高齢化、少子化、過疎化が進むことが懸念される。特色ある教育や生涯学習を進め、そこで生活する者が夢を持てるような施策が必要である。若者や女性の発想を生かしたまちづくりを進める。
3-2	樋脇町	35	女	合併する色々なまちを批判するのではなく、いろいろなまちのよいところ、伝統文化をあたたかいまちとして子供達がよく理解できるよう交流を深める。芸術的な講演等に子供達が触れる機会を増やしてほしい。
3-4	樋脇町	54	男	子供達に世界共通語である英語の習得機会を日常的に与える制度はないか。子供達は日本語と英語は必ず話せるようになってほしい。
3-15	樋脇町	26	女	各市町村において育まれてきたものについては(文化や各種活動)新市の貴重な財産として守り、行政と住民間の理解と納得のより発展できる“まちづくり”をかかげ、行政と住民の新たな活力の場となるように
3-28	樋脇町	46	男	将来の国際化、国際交流に順応する人々を育成するために英語、韓国語、中国語ぐらいを話せる幼稚園、小学校からの外国語教育を導入すること。川西薩地域から芸能スポーツ政界等、有名人、著名人を排出するための青少年期の総合的な教育施設の充実
3-36	樋脇町	56	男	温泉保養基地、食糧供給基地として位置づけ 「しま、おか、みなと、みずうみ」それぞれが特徴特色を生かせる政策の推進 教育環境の整備(施設・整備の拡充)
3-39	樋脇町	31	女	子供達の人数が減ってきているが、今ある学校は残してほしい。区域にこだわらず行きたい学校を子供達が選べるようにしてほしい。
3-48	樋脇町	53	男	各町に有する地域資源を活用した新市づくりをしてほしい。
3-64	樋脇町	37	男	地域づくりはまず人づくりから。教育の充実と人材育成。そこから全てが始まる。都市部、農村部にも人材が育つことでそれぞれの地域が活性化する。そのため、小規模校であってもコストはかかると思うが、残し、教育の充実を図るべきである。また、学校は地域のコミュニティーの役割も果たすため、ぜひ残し、新しい市であればこそ活力に満ちた地域づくりをお願いしたい。
3-71	樋脇町	28	女	ひとつの町にとどまらず、合併した時、各市町村の学校の交流を活発にしてほしい。
3-84	樋脇町	20	女	通学する小中学校を自由に選択できるようにする。若い夫婦のための育児相談や育児教室を開設する。他いろいろ
4-1	入来町	55	男	各市町村の歴史を大切にしてほしい。遺跡・遺物が各市町村にそれぞれ残っています。保存と観光資源としての活用・整備すると共に、全国への情報発信をしてほしい。
5-1	東郷町	27	女	昨年まで子供の家があり、幼稚園、小学校の帰りに寄ることが出来、子供達もまた人間関係が広がったり、保護者も安心できたと思います。現在も子育て支援センターがありますが、園や学校の帰りに寄ることが出来る施設があったらどうでしょうか。部活帰りなどで、遅く帰る子供たちのためにももう少し街灯を増やす必要はないでしょうか。
5-5	東郷町	46	女	あまりにも大きな市になり、東郷町など特に切り捨てられる面があるのではと心配します。予算等削減されるとこの行事もあの行事もあの活動も。また、将来高齢化が進むとお年寄りが元気で生活できる町づくり。(これは医療費、福祉の問題ともつながると思いますが)病気になるようにする体、そのための教室や講座、定年後の方々元気であればその方々から子供達に教えてもらう面も多いのでは？
6-2	祁答院町	55	男	夏、冬休み等に学校間のスポーツの交流等を企画していく。(メダカの学校や海山川の交流、都市と農村の交流等)
6-5	祁答院町	39	男	既存の国際交流を発展させ、将来を担う子供達の人材育成を強化してほしい。新市の範囲が広範囲にわたるため、最新のIT技術を率先して導入し、地域イントラネット等導入し、地域情報化のまちづくりをしてほしい。開通予定の新幹線や空港へのアクセスも良いことから、県外からは観光、グリーンツーリズム等人の交流で賑わうまち。県都鹿児島市と対抗出来る拠点都市の形成を目指してほしい。
6-11	祁答院町	24	女	生涯学習講座を充実させてほしい
6-12	祁答院町	46	男	子供達が自分の子供達に教えられるような遊び等または家の手伝い(今の子供は家の中でのゲーム等が多い)

6-19	祁答院町	60	男	安心して子どもを育て、女性も働き続けられる施設や制度の整備・充実。・企業内保育所の充実。・保育所と医療施設や老人施設の併設。(お年寄りが赤ちゃんや幼児の世話ができるような施設)・小、中学生が放課後や土、日に安心して過ごせる施設。・小、中、高校生が地域の伝統文化、芸能等を楽しく学べるような施設とそれらを教える人材の確保、育成。
7-4	里村	46	男	子供は地域の宝である。 合併による異動で小中学校の存続が困難になってはこまる。(職員の地域間交流があってもいいのかも) 新市の将来を見据えて、子供同志の地域間交流を今以上に多くして欲しい。(同じ市民である認識をたかめるため)
7-11	里村	56	男	自然豊かな環境を子どもたちに残していくには、学校教育の内に野外教育の場を設けて、島特有の自然、環境を実感させてほしい。
8-3	上甑村	62	男	・稚魚の放流とアワビ養殖や水産加工品の製造等水産振興対策 ・スポーツ、レクリエーション施設、集会施設の改修 ・アイランドセラピーによる健康づくりの推進(すのさき荘改修温泉化) ・生涯安心して住める地域づくり(高齢者生活福祉センター等温泉施設の整備) ・海岸への流木、竹、ごみ等の処理施策 ・保育園(又は保育所)図書館や集合施策等複合少子化交流施設の整備
8-5	上甑村	33	男	保育園設置
8-7	上甑村	35	男	鹿島村でおこなっている「うみねこ留学」のように、都会に住んでいても子供を豊かな自然の中で育てたいと考えている親御さんも多いのではないかと思います。学区にとらわれず、島外からの小中学生を島にうけいれる制度を、もっと拡充してはどうか。また、休耕地も多くみられるが、それをもっと有効に利用できる方法はないかと考える。
8-13	上甑村	53	男	島には高校がなく、現在は川内市、串木野市、鹿児島等どこでも受験できているが、合併したとき鹿児島市などを受験できなくなってしまうようにしてほしい。
8-14	上甑村	47	男	・海産物の販路の提供等 ・小中学校の現状維持 ・公営住宅の整備(過疎対策) ・企業誘致(工場等)
8-16	上甑村	32	男	本村は、中学校までしかないため、高等学校等進学に対し本土への進学をよぎなくされている。 学区制は現在はないが、本土校との比較をした場合、現在の学区制をそのまま尊重してほしい。
9-2	下甑村	52	男	向学心のある、離島の子女にあってはその教育や生活について支援あるべし。
9-6	下甑村	27	男	地域の特性を生かした補助制度の創設(甑島に新たに定住し漁業に就業する方を対象にした助成制度など) 各地区の小学校の留学制度に対する補助(里親・留学生の親・両方の負担を軽減し、交流が盛んになって地域が活性化してほしい)
9-7	下甑村	38	男	・世界に通用する子どもの育成を図るため、強制的な留学制度を創設する(補助対象) ・独自の貿易が出来る様に、港の整備、法の制度を確立する ・各地区の伝統を継承しつつも、新しい文化を創造する。
11-7	川内地区消防組合	45	男	様々な音楽、能楽等もっと情操教育に力を入れてもらい、子どもたちの完成を高めて欲しいと感じます。
11-16	川内地区消防組合	37	男	地域活性化や市民、子どもたちの情操教育のため、音楽や踊りなどの文化事業のバックアップを強化して欲しい。 そのためには、仙台支社近隣町村で文化活動をしている個人や団体がもっと市民会館の公共施設を利用しやすいように、使用料金の引き下げや駐車場の増設、交通機関の充実等を図ってほしい。

11-19	川内地区消防組合			<p>教育行政合理化への反対論</p> <p>日本の教育の原点である人格を育てるためには、大人の合理主義こそが最大の妨げであると思う。今の日本の教育現場で素晴らしい教育が実践されているのはほとんど小規模校であると思う。できるだけ今の環境を守り不必要な合理化は避けてほしい。 離島観光道路の整備と航路等の充実</p> <p>上甕島・下甕島を1本の観光道路で結び島の利便性を高めると共に、観光振興力を注いでほしい。(現在の県道では不十分であり、船でしか行き来できない不便さもある。</p>
11-20	川内地区消防組合	26	男	環境の改善と歴史にふれあえる施設の建設(テーマパークのようなもの)
11-26	川内地区消防組合	27	男	子どもたちのためにテーマパーク及び、イベント会場等ができればありがたいと思います。
11-27	川内地区消防組合	23	男	県下でも自慢できるようなテーマパークの開設と運営
11-36	川内地区消防組合	37	男	<p>地域活性化や市民、子どもたちの情操教育のため、音楽や踊りなどの文化事業のバックアップを強化してほしい。</p> <p>そのためには、川内市内や近隣町村で文化活動をしている個人や団体ももっと市民会館等の公共施設を利用しやすいように、使用料金の引き下げや駐車場の増設、交通機関の充実等を計ってほしい。</p>
11-39	川内地区消防組合	47	男	<p>プロ野球選手が同時に2名も誕生した。野球選手にとっても夢の広がる話だと思う。これから野球をやりたいと思う小学生も増えると思われる。</p> <p>本市はバスケットやサッカーも盛んで施設は整っていると思うが、こと少年野球に関しては試合用の会場がない。県内外から練習試合や公式戦で訪れる小学生たちや保護者も多い。大会の場合、川内市に宿泊することも多々ある。指導者たちも子どもたちのために一生懸命頑張っている。川内市の活性化、子どもたちの健全な心身の発達のためにも、ぜひ少年野球用の球場を造ってほしい。</p>
11-43	川内地区消防組合	52	男	<p>中郷町の上池を中心に文化構想があると聞きましたが新幹線が開通し、運動公園下のトンネルを抜けたら“ここが川内”とすぐわかる物(例えば五重塔)等を作成してほしい。また、各種大会が運動公園町で行われたとき家族が訪れると思うが、近くの上池付近と整備したら家族も楽しめるのではないかと</p> <p>川内には市内を一望できる寺山公園があるが、天辰あたりからロープウェイ等を設置したら寺山自体も人がもっと集まるのでは</p>
11-53	川内地区消防組合	47	男	スポーツ施設及び環境の整備を助成してほしい
11-74	川内地区消防組合	38	男	総合運動公園を上池、下池まで広げて散歩やいろいろなイベントのできる芝生を植えるなりして、運動公園を池を利用した公園にしたらどうですか。又、プールも屋内屋外を作り遊べる施設も一緒に設置したらどうですか。川内川河川敷に木を植えたり、花を植えたりして公園として活用できないでしょうか。
11-87	川内地区消防組合	22	男	子どもたちの養育費を安くする(保育料)
11-89	川内地区消防組合	29	男	少子化が進む昨今より多くの子どもの出生が得られるよう一定以上の子どもを受けた家庭には補助をする
11-93	川内地区消防組合	40	男	<p>川内からプロ野球の選手も生まれ川薩地区においてもミニキャンプ等ができる。将来的には川内ドームができたらいと思う。</p> <p>又、新幹線も福岡ー鹿児島間が1時間20分前後と九州間が近くなるので、それらを見越した集客施設をどんどん作ってほしい。</p>
13-3	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	45	男	総合病院の開設。専門、総合高等学校の増設(学区制の撤廃)公立大学の開設。災害に強い道路の整備。運動公園の整備、増設・改善(ナイター、フェンス etc)

17-1	甌島衛生管理組合	47	男	将来を担っている子ども達のため、管内の小規模校(離島)と大規模校(本土)の交換授業を実施し、教育格差のない教育を実施してほしい。又夏休み期間には、子ども達の交流を活発に行う事。
17-2	甌島衛生管理組合	42	男	地元や他市からの子どもたちが学べる大学を誘致したらどうか。その事もテーマの「活気のあるまち」につながるのでは？
17-4	甌島衛生管理組合	41	男	現在、子どもの高校は親にとって多額の負担になっています。そこで、島内の子どもの為の寮を寮費も補助するかたちで、作っていただければ親の負担も軽減します。
17-5	甌島衛生管理組合	46	男	島の子ども的高校は、親にとって、多額の負担になっています。そこで島内の子どもの為の寮を、寮費も補助するねがいで、作っていただければ、親の負担も軽減します。おねがいします。
18-3	上甌島バス企業団	38	男	現在、甌島は高校進学にあたり、鹿児島市内はもとより広い範囲に受験できるが、このシステムは必ず残してほしいと思う。色々な可能性をひめた子どもたちが自分の力をためし、学ぶ場を選べる状況を作ってやるために。
18-5	上甌島バス企業団	28	男	甌島は陸から離れており何かと交流がない。年々子供たちの人数も減少し、子供たちにとっては、特に情報が少ない。「少年の船」というものもありますが、他の少年団(スポーツ)などなど、子供たちにとってふれ合う場を作ってほしいです。
18-6	上甌島バス企業団	40	男	合併することでどうしても小規模なところの意見等が難しくなってくるのが考えられる、どの村、町でも高齢化が進む一方活気ある町になるには若者が増えることが、重点となってくるのではないだろうか。といっても島にしてみれば若者が帰って来ようにも働くところがないのが現状である。20年前とは違い海で働く人は少なく公共事業も厳しくなってきた。田舎育ちのものにとって生活するためとはいっても自然が壊れていくのは、僥倖がたい。これからますます高齢化が進むと考えられる。合併することで、若者が町へ出ていくことになるのではと心配する。人間が生活するためには、年齢的なバランスというものが必要ではないだろうか。何とか良い職場ができることを期待する。合併することで何もかも変わってくるとは思うが、各地区の伝統文化を考えてもらいたい。そして、生活の安定こそが、幸せであり、子供の成長のためにでもなると考える。人々が合併したことで、生活が安定し合併して良かったという声が聞けることを期待する。

教育文化(テーマ : テーマ ~ 欄で記入できなかった事柄等をご記入ください。)

	市町村名	年齢	性別	提言
1-104	川内市	41	男	産業振興による経済基盤の充実。少数集落でも安心して暮らせるまちづくりの推進(コミュニティの推進)。住民の声が反映される施策の推進 外に目を向けた施策の展開(国際交流、国際貿易の推進)。福祉・医療体制が充実したまちづくりの推進 障害者(弱者)に優しく、障害者がいきいきと暮らせるまちづくりの推進 学校教育環境や生涯学習環境が整備されたまちづくりの推進
7-1	里村	48	女	「新市」という大きな型の中で、我々里村は、海を越えた住民レベルの交流の機会をふやしていくべきである。合併しても町や村々が、それぞれの個性を自覚し、尊重し合えるように。 里村は、今まで大切に守ってきた、習慣、風習、祭り、行事を伝統として、「新市」へアピールし、交流し合う。人々の往来も多くなるのでは…。そして、豊かな自然と、その産物を「新市」の市場の中で、活かしたらー。そうすれば「新市」の中でも、重要なもしかして貴重な観光スポットとなるのではないだろうか。
11-23	川内地区消防組合	39	男	少子化について問題が解決できるまちづくり 3人以上には補助金、私立幼稚園・市立幼稚園・町立幼稚園の月額差をなくす 小児医療の金額補助 子どもたちが集まるイベント作り 鹿児島市の動向にとらわれることなく、独自の考えを常に持ってほしい。川内駅を中心にしたまちづくりをしてほしい。現在の市・町境に区画を作り、境のないまち作りをしてほしい。防災面で穴のない体制作りを目指してほしい。3次救急医療の体制作り

